

「森のかをり屋」の舞台となる森林について

今回のおはなしの舞台は、冒頭の迷い込むシーンと最後のシーンは夏緑二次林（里山林）、そして、迷い込んだ先、森のかをり屋がある場所は夏緑自然林です。

「森のかをり屋」では、奈良県吉野郡天川村大峰山の森を舞台と設定しました。



「森のかをり屋」のポイント

「森のかをり屋」のクマさんの名前はヒイラギさんです。ヒイラギといえば、トゲトゲの葉を思い浮かべる方も多いかと思いますが、右の絵をよーく見てみてください。上と下で葉っぱの形が少し違うんですよ。

下の若い葉（左）はシカに食べられてしまうのを防ぐために、トゲトゲになっており、上の古い葉（右）になると、シルエットが丸くなっています。



「ヒイラギ」の不思議



公式YouTubeでもクロモジやヒイラギを紹介しています！ぜひそちらもご覧くださいネ！

<https://www.youtube.com/watch?v=TSTvEpUDRL0>
兵庫県 南但馬の森を深掘り探検！～植物編～ (youtube.com)



KOBELCO森の童話大賞HPの「おはなしを書く前に」で、森についての詳しい情報を発信しています。ぜひご覧ください。HP www.kobelco-mori-ohanashi.jp

絵本活用のヒント

第11回中高生の部金賞受賞作品

「森のかをり屋」



KOBELCO 森の童話大賞について

森はたくさんのいきものの命を育み、空気をきれいにし、水をたくわえ、私たちの暮らしに安全と豊かな恵みを与えてくれます。でも、一度森が元気を失ってしまうと、元通りにするには長い年月と、大変な努力が必要になります。

このような「森」を理解し、大切にすることを、次の世代を担う子どもたちに育んでもらうため、KOBELCOグループは「森」をテーマにしたおはなしを募集し、絵本を作っています。

この絵本を読んで、一人でも多くの子どもたちが、森をはじめとする自然について考え、かけがえのないものであると気づき、そして、いつか、森を、自然を、元気にすることを何か一つでも実行していただければと思っています。

【夏緑二次林（里山林）】

「森のかをり屋」の世界

【夏緑自然林】



カラスアゲハ

シジュウカラ

ネザサ

クサギ

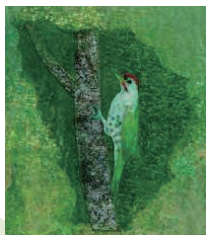
コナラ

15-20mほどの夏緑高木。
里山林では、燃料用の薪や炭の材を得るために、繰り返し伐採され、萌芽更新で再生しているので、細い幹が特徴。

オオルリ



アオゲラ



ヒイラギ

4-8mほどの照葉小高木。
とげ状の鋸歯をもつ葉が特徴。
冬、白い小花が集まって咲き、甘い匂いがする。

モリアオガエル



カツラ

20-25mの夏緑高木。
葉はハート形で、黄葉し落葉するとカラメルのような甘い匂いがする。

ヤマアジサイ

ジュウモンジシダ

クロモジ

ブナ

20-25mほどの夏緑高木。日本固有種。保水力が高く「緑のダム」と呼ばれ、また果実は多くの生き物の栄養源になっており、生物多様性を支える樹木として高く評価されている。

ミヤコザサ

ナツツバキ

10-20mの夏緑小高木。
夏に白い花が咲く。
朝に開花し、夕方に落花する一日花。

